

平成21年度 森プロ事業実績：美濃白川森プロ

(平成22年3月末現在)

	H20年度	H21年度			5力年	
	実績	計画	実績	達成率	備考	
集約化(ha)	44	37	31	84%		
作業道(m)	2,036	3,000	2,364	79%	森林管理路	
間伐等	面積(ha)	24	23	31	135%	利用+切捨
	材積(m3)	882	1,500	1,001	67%	支障木含む
備考	団地外実績(利用間伐 6ha、搬出材積 189m3、作業路開設 2,645m)					

H21年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金含む) 4,906 円/m3

施業集約化の状況

- 地元の精通者及び林道・作業道管理人等の協力を得て、集約化を図った。
- 森林所有者に進行中の現場を見学してもらい集約化に対する理解を求めた。
- H22予定地所有者との長期施業受託契約を締結した。(10年間)

施業プランの活用状況

- 作成中(使用は、試験的に実施中)
- プランナーが現地にて所有者に事業説明を行った。

施業プランナーの養成状況

- 施業プランナー：1名



集約化現地説明会

作業道の状況

- 平成22年3月末現在 作業路開設 約23.12m/人・日
- プランナーとオペレーターと伐採班の3名で作業道線形踏査を行った。
- オペレーターの知識が未熟なため、関係機関等よりアドバイスをもらい実践した。

完成した作業道



森林管理路 W=3.0m L=1,295m

4/13・5/26・7/13 (技術支援センターより指導)

盛り土勾配についての指導



### 作業システムの状況

○ 平成22年度3月末現在 素材生産性 約3.82m<sup>3</sup>/人・日

- ① 伐採・造材・枝払い(チェーンソー) → 集材(グラブブル) → 積込・運搬(フォワーダ) → 運搬(トラック)
- ② 伐採(チェーンソー) → 造材・枝払い(ハーベスタ) → 集材(グラブブル) → 積込・運搬(フォワーダ) → 運搬(トラック)

伐採作業



造材作業



枝払い作業



造材・枝払い作業



積込・運搬作業



運搬作業

### その他

○ 本町で初めてデモ機導入したハーベスタの現地見学会を開催した。(H21.12.11)

UOTANI フォワーダ  
(AK-33)

ハーベスタ実演



ケスラー社製 油圧ストローク式 ハーベスタ  
(SH75X-3BB)



フォワーダ実演

### 森プロの成果

- 林道・作業路等の路網整備の課題を再認識することができた。
- 集約化をきっかけに他地域の森林所有者から白川町森林組合への作業信頼が増加した。
- 各研修を通じて、職員・技術者ともに技術・意識を向上することができた。
- 高性能林業機械のデモを行ったことで、森林所有者が集約化や低コスト作業システムについての認識が深まった。

### 今後の課題

- 現場、地形によって高性能林業機械を追加導入し、作業システムのさらなる効率化を図る。
- 木材流通・加工業者(組合)と連携を図り、多様な販売経路を確立する。
- 間伐木のカスケード利用による林地残材の減量をコスト面から検討する。
- プランナーを2名体制に増員し、施業集約化を的確に進める。
- 積極的に各種研修会に参加し、技術のステップアップに努める。
- 森プロ団地内で見学会を開催し、町内全体へ普及啓発を図り、集約化を進める。